【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公開番号】特開2000-325333(P2000-325333A)
【公開日】平成12年11月28日(2000.11.28)
【出願番号】特願平11-136406
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　6/03　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　6/03　３２１Ｇ
Ａ６１Ｂ　6/03　３３０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月15日(2006.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検者を寝載する寝台と、前記被検者にＸ線を照射するＸ線源と前記被検者の透過Ｘ線を検出するＸ線検出器とを前記被検者の周囲を回転させるスキャナにより多方向からのＸ線透過データを収集するガントリと、このガントリの筐体表面に配置され前記被検者の接触によって装置全体の電源を遮断するためにその接触を検出する接触検出用テープスイッチと、を備えたＸ線ＣＴ装置において、前記ガントリと前記被検者とが接触するおそれがある動作中を除き、前記接触検出用テープスイッチが作動しても前記スキャナの回転、Ｘ線管からのＸ線の放射を中断しないようにシステム系電源を遮断しない制御を行うテープスイッチ制御手段を備えたことを特徴とするＸ線ＣＴ装置。
【請求項２】
前記テープスイッチ制御手段は、術者が前記被検者に穿刺しながらＣＴ計測を行うＣＴフロロスコピー計測時に、前記術者による前記接触検出用テープスイッチへの接触により、前記ガントリのティルト動作中又は前記寝台の上下前後動作中を除き前記接触検出用テープスイッチが作動しても、前記システム系電源を遮断しない制御を行うことを特徴とする請求項１に記載のＸ線ＣＴ装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために、本発明は、被検者を寝載する寝台と、前記被検者にＸ線を照射するＸ線源と前記被検者の透過Ｘ線を検出するＸ線検出器とを前記被検者の周囲を回転させるスキャナにより多方向からのＸ線透過データを収集するガントリと、このガントリの筐体表面に配置され前記被検者の接触によって装置全体の電源を遮断するためにその接触を検出する接触検出用テープスイッチと、を備えたＸ線ＣＴ装置において、前記ガントリと前記被検者とが接触するおそれがある動作中を除き、前記接触検出用テープスイッチが作動しても前記スキャナの回転、Ｘ線管からのＸ線の放射を中断しないようにシステ

ム系電源を遮断しない制御を行うテープスイッチ制御手段を備えたものである。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】図４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図４】

